

(様式7)

[認知症対応型共同生活介護用]

1. 評価結果概要表

作成日 平成20年 9月 12日

【評価実施概要】

事業所番号	3270800315		
法人名	株式会社 ひようま		
事業所名	グループホーム ひなたぼっこ・えびすヶ丘		
所在地	島根県益田市下本郷町705-29 (電話) 0856-31-1250		
評価機関名	しまね介護ネット		
所在地	島根県松江市白潟本町43番地		
訪問調査日	平成20年8月8日	評価確定日	平成20年9月19日

【情報提供票より】 (平成20年 7月 1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 13 年 8 月 1 日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	9 人	常勤5人, 非常勤4人,	常勤換算6.3人

(2) 建物概要

建物構造	木造2階建て	造り
	2階建ての	~1・2階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	35,000 円	その他の経費(月額)	15,000 円	
敷金	無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	無	有りの場合 償却の有無	無	
食材料費	朝食	300 円	昼食	300 円
	夕食	380 円	おやつ	0 円
	または1日当たり		円	

(4) 利用者の概要 (7月 1日現在)

利用者人数	8名	男性	0名	女性	8名
要介護1	4名	要介護2	1名		
要介護3	1名	要介護4	2名		
要介護5	0名	要支援2	0名		
年齢	平均 89.4歳	最低	83歳	最高	97歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	大畑医院・松ヶ丘病院・中島歯科医院・村野医院
---------	------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

毎月の職員自己評価活動を通じ、理念に沿ってケアが行われたか、ケアプランは個別性を持ちその人らしく細やかな内容か等チェックするシステムがある。職員育成にも力が入られ、法人として組織立った運営を行っている。「共生」が大切にされ、プランも利用者の生活歴や趣味、特技を活かした内容であり、利用者のペースを尊重したケアとなっている。清潔の保持のためタオル等の洗濯物も多く、干したりたたんだり利用者居間で生き生きと作業をしていた。介護部長の援助のもとホームの独自性を保ちながら、さらに良いケアを目指しているホームである。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4) ①地域とのつきあい②市町村との連携③思いや意向の把握④介護計画の見直しを一ヶ月等の改善課題に対し、ホーム長会議や運営推進会議、職員の検討を経てそれぞれ前進改善した。同業者との交流やホーム独自の備蓄品の確保等、引き続きの課題がある。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) ①全職員で自己評価を行った。自己評価や外部評価は家族会や運営推進会議で報告検討したり、介護部長も参加する職員会議で検討され、多くの課題を改善した。サービス向上のためさらに課題を深めたり、毎月独自の職員自己評価も実施している。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6) ②利用者の様子や諸行事、行政からの連絡、生活支援の内容、事故ヒヤリハット、外部評価結果等を報告している。毎回「家族アンケート結果」「ホームへの期待」「徘徊ネットワーク」等のテーマで意見交換しサービス向上や運営等に活かしている。
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8) ③毎月ひなたぼっこ便りとともに利用料や暮らし向き等を報告している。法人として無記名家族アンケートが年一回実施され、回収率は70%であった。家族会でも率直な意見が出され、利用者の喫煙場所を変更したりと管理運営に反映している。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) ④自治会の新年会や敬老会、盆踊りや草刈に参加している。毎年のひなたぼっこ祭りで「認知症」の話をしたり、ひなたぼっこ便りを回覧している。レクダンスやエステ、見守り等のボランティアや防災での「協力隊」も組織される等、地域との連携に力を入れている。

2. 評価結果（詳細）

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り 組みを 期待し たい項)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	法人として5項目の基本理念がある。事業所はこの理念をもとに、今までの生活に近い環境づくりやその人らしく暮せるための支援を具体化し、地域密着型のサービスを追求している。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	毎月、ひなたぼっこ独自の職員自己評価を行っている。項目に「理念に沿ってできたか」があり、各自が記入して振り返るとともに、全員の評価や検討により、次のケアにも活かしている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会の敬老会や盆踊り、草刈に参加している。レクダンスやエステ、近所の方の見守りボランティア等交流が多い。ひなたぼっこ便りが回覧され広報も積極的に行っている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価は全員で実施した。外部評価結果は家族会や運営推進会議に報告したり、介護部長も参加した職員会議で検討され、多くの改善を行ってきた。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取 組みを 期待し たい項	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	行政からの連絡、生活支援の内容、事故ヒヤリハット、外部評価結果等が報告されている。毎回「ホームへの期待」「徘徊ネットワーク」等のテーマで意見交換され運営等に活かしている。		
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	介護部長が管理者研修で聞いたことをホーム長会議で伝達している。防災マニュアルの作成時に協力してもらったり、困難事例の相談をしたりと連携が強くなっている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	毎月、ひなたぼっこ便りとともに利用料や金銭出納、ホームでの様子を報告し、必要に応じて健康面や検査結果も報告している。担当者の変更や新しい職員の紹介も随時行っている。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	法人として無記名家族アンケートが年一回実施され意見や苦情を聞くシステムがある。家族会でも率直な意見が出され、利用者の喫煙場所を変更する等、管理や運営に反映させている。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	馴染みの関係が大切にされ、職員の異動はあまりない。新人に対しては利用者に馴染んでもらうための時間を確保する等、サポートする体制が取られている。		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取 組みを 期待し たい項	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人として職員教育システムがあり、新人研修をはじめ、ホーム長研修、夜勤者の研修等が計画的に実施され、外部研修後の伝達も行われている。資格取得への支援もある。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	法人の他ホーム職員との交換研修や他法人同業者との職員交流会がある。職員は他ホームの実情が分かったり意見も聞いて良かったと意義を理解しケアにも活かしている。介護部長から地域の同業者の情報提供がある。	○	他同業者との職員交流会を発展させ、行政の協力を得ながら相互訪問活動を実現して頂きたい。
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	2～3泊の体験入居を経て入居を決定している。入居後も家族の協力を得て面会に何度も来てもらったり、職員と一緒に自宅へ訪問したりと徐々に馴染んでもらうよう努めている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	ホールに「共生」の掛け軸が飾っており、職員と利用者、利用者と利用者がともに支えあう関係が大切にされている。神棚への供え物や畑作り、すぐ出る感謝の言葉等、利用者から学ぶことが多い。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り 組みを 期待し たい項)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	センター方式の一部活用や日常の対応の中で利用者の希望や意向を把握している。新しい情報もミーティングで共有し合っている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	センター方式の活用で問題解決型プランから利用者のできることや生活歴に着目したプランへと変化した。利用者や家族の希望を取り入れ、関係者の話し合いの上でプランを作成している。家族の参加したケアプラン作成会議を予定している。	○	プラン作成時の家族参加の定着とともに利用者の個人記録等の家族への積極的開示にも期待したい。
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	六ヶ月に一回の見直しが基本であるが、毎月認知度、身体能力のチェックやモニタリングを行い見直している。状況変化があれば都度アセスメントし、家族も交えてプランを変更している。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	医療連携体制加算が取られ健康や医療相談に対応している。受診時や馴染みの美容院へも状況に応じて同伴している。親族の泊まり希望に備え、布団や休憩室も確保している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取 組みを 期待し たい項	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者や家族が希望するかかりつけ医に受診している。定期的な受診は職員が同伴し急な場合は家族に同行を求めている。検査結果を知らせる等受診後は情報を共有している。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	家族や主治医、職員で重度化した場合や利用者の状況変化に応じて、今後の方向性を話し合っているが、過去に看取りの事例はなく病院に入院されるケースが多い。看取りの方針はある。	○	法人の他事業所の教訓等を踏まえ、重度化や終末期の対応について、準備や意思統一を図って頂きたい。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	さりげないトイレ誘導や排泄の失敗時に周囲に気付かれないよう配慮している。毎月の自己評価活動でも取り上げられ、振り返る機会がある。脱衣場をカーテンで仕切り、プライバシーを確保した。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	化粧品やパン等の買い物に出かける、喫煙、新聞を読む、庭の花を切ってテーブルに飾る、昼食後に車椅子で散歩する等、利用者の思いや自己決定を尊重した生活支援となっている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取 組みを 期待し たい項	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	献立をともに考えたり畑の野菜を使って調理したりと準備や味付け、片付け、食器洗い等一緒に行っている。利用者は他の利用者に気遣ったり、職員とも談笑しながら食事している。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	日曜日を含め毎日入浴可能であり、ほとんどの方が毎日入浴している。車椅子使用者は午前中に入ってもらっているが、その日の体調や流れに沿って柔軟に対応している。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	肥料や花の苗を買って多くの植物を育てたり、梅干や漬物を漬けたり、庭の花を摘んでテーブルに生け変えたりと利用者の興味や出来ること、特技を活かした支援となっている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	車椅子使用者も含め、買い物や散歩、墓参り、お寺参り、友人宅へ遊びに行く等、本人に満足してもらえる外出支援を心掛けている。最近、集団の外出機会が減少した。	○	計画されている「気の合うもの同士」での外出の機会を実現し、話題づくりの支援にもつなげて頂きたい。
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	止むを得ず、玄関の自動ドアを手動にすることがあった。今は近所の人に夕方の見守りの協力をしてもらったり、ホールに職員を配置し利用者の動向を察知しながら見守っている。	○	自由な生活を保障するため、さらなる工夫や地域の協力を期待したい。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取 組みを 期待し たい項	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	近所の4人に「協力隊」になってもらった。年一回消防署や住民が参加した訓練を実施している。ホーム独自で三ヶ月に一回、職員と利用者間で訓練を行っている。備蓄品は法人で確保している。	○	地震等自然災害にも備え、中身や保管を工夫するなどして、ホーム独自の備蓄を検討して頂きたい。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	水分や食事摂取量が把握され、利用者の状態により小分けやキザミにして食べやすく工夫している。利用者の好みにより献立は比較的野菜類が多い。9月に栄養士のチェックを予定している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者が育てる季節の花が玄関等に咲いている。居間のテーブルには家族が持参したり利用者が摘んで生けた花が飾られている。洗濯物がソファーや椅子に沢山置かれ利用者数人でたたんでいたり、職員とともに神棚に榊を飾っている等生活感がある。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れた馴染みの箆笥や鏡台、椅子やテーブルが置かれている。観音像が置いてあり毎朝礼拝する利用者がある等、生活習慣を大切にした居室づくりとなっている。		

※  は、重点項目。

※ WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。